



問 環境政策課  
☎内線1563

茨城県は平成30年10月2日付けで「茨城県動物の愛護及び管理に関する条例」の一部を改正し、犬の放し飼い等の違反に対する罰則が強化されました。県内では放し飼いによるトラブルが依然として発生していることに加え、平成28年に「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」が制定されたことで、更なる殺処分ゼロへの取り組みを推進する必要性により、

るものです。茨城県動物指導センターには、首輪のついた犬が、飼い主不明犬としていまだ多く收容され、その一部がやむなく殺処分となつています。飼い主の適正な飼養管理の責任をより徹底することで、不要に殺処分される犬猫が減ることを願っています。命を飼うということをより深く市民の皆さんにも考えていただきたいと思つていきます。

とうふと言う名前なので、すぐに覚えてもらえます。人懐っこく可愛いですよ。

**H家(神谷)のフェレットたち**



右から チョビ(メス6才)、次郎(オス6才)  
【種類】パスパレーフェレット  
甘えん坊で、人懐っこく元気です!

【種類】キャバチワ(キャバリア×チワン)オス3才




**T家(栄町)の豆腐くん**

**ペットの写真募集中!**

投稿者の氏名・電話番号と、ペットの名前・種類・性別・年齢を記入の上、メールか封書でお送りください。  
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1「環境政策課わんにゃんこ」係  
E kankyoku@city.ushiku.ibaraki.jp  
※封書の場合、写真は返却しません。  
※掲載に不適切と思われる写真については、掲載しない場合がありますのでご了承ください。

犬、猫以外もOK  
自慢のペットを  
ご紹介ください!



## 聖歌についての 豆知識

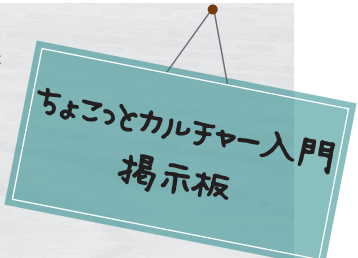
今月は師走、そしてクリスマス。まちではクリスマスソングが聴こえる季節になりました。元々はキリストの降誕を祝うのがクリスマスです。教会音楽、とくに聖歌はテレビCMなどでよく耳にするのではないのでしょうか。

聖歌の起源は中世6世紀ごろのキリスト教の普及にともなうものです。ヨーロッパにキリスト教が広まっていくと同時に典礼の様式が整備され、その典礼文を歌うために聖歌が生まれました。

当初、聖歌は現在のように複数の声部(パート)には分かれておらず、同じ旋律を歌うもの(=単旋律)

問 文化芸術課  
☎871-2300

でした。そのおよそ300年後に旋律は複数の声部に分かれるようになります。その後16世紀の宗教改革では難しい宗教音楽の代わりに歌いやすい旋律をもつ賛美歌が普及するなど変化を及ぼし、またフランスでは教会の中でだけでなく世俗的な合唱曲が流行するなど、時代とともに音楽は少しずつ形を変えながら人々の暮らしに寄り添っているのです。



## 今回の豆知識に関連するイベント案内

- 【2018 MUSE クリスマスコンサート】  
地元の演奏家たちによるアンサンブルコンサートです。
- ◆日時 12月16日(日)【昼の部】午後1時30分開場、2時開演 【夜の部】午後5時開場、5時30分開演
  - ◆会場 中央生涯学習センター 多目的ホール
  - ◆チケット料金 【前売券】大人1,000円、子ども700円 【当日券】大人1,200円、子ども800円
  - ◆お問い合わせ うしく音楽家協会(上仲) ☎090-1548-4172